

患者氏名（ ）

血が止まりにくくなる薬（抗血栓薬）を服用中の患者さんへ

抗血栓薬を服用中の患者さんが内視鏡検査を受ける際、抗血栓薬を休薬すると、脳や心臓の血管が詰まる危険性が高くなります。一方、抗血栓薬を継続したまま処置を受けると、出血の危険性が高くなります。担当医は、この2つの危険性が出来るだけ低くなる様に配慮させていただきますが、危険性が無くなるわけではありません。

内視鏡処置における主な抗血栓薬の取り扱い

抗血栓薬単独服用の場合

	血栓塞栓症低リスク群	血栓塞栓症高リスク群
ワーファリン		服用継続で施行 ※適正な治療範囲にある事を、検査当日に採血で確認要
ブラザキサ、 イグザレルト リクシアナ エリキュース		生検・出血低危険度の処置は血中濃度のピークの時間を回避して施行、出血高危険度の処置は当日朝から中止し翌日朝から再開
バイアスピリン	3-5 日中止で施行	服用継続で施行
パナルジン、 ブラビックス	5-7 日中止で施行	生検・出血低危険度の処置は服用継続、出血高危険度の処置は処方医と相談しバイアスピリンやプレタールへの置換を考慮
その他の抗血栓薬	生検・出血低危険度の処置は服用継続、出血高危険度の処置は1日中止	服用継続で施行

抗血栓薬複数服用の場合

バイアスピリン+ブラビックス バイアスピリン+パナルジン	処方医と相談し可能であればバイアスピリンのみ継続（ブラビックス・パナルジンは7日中止）で施行
バイアスピリン+プレタール	処方医と相談し可能であればどちらか1剤のみ継続（バイアスピリン中止なら5日、プレタール中止なら1日）
バイアスピリン／ブラビックス + ワーファリン／DOAC	処方医と相談し、可能であればブラビックスはバイアスピリンやプレタールへ置換 ワーファリンは適正な治療範囲にある事を確認し継続するか、ヘパリン置換・DOAC置換 DOACは当日朝から中止し、翌日朝から再開

※後発薬品も同様の対応とします

※DOAC：ブラザキサ・イグザレルト・リクシアナ・エリキュースなど

☐ 抗血栓薬服用あり

☐ 抗血栓薬服用なし

説明医療機関名（ ）

説明医師（ ）